

# 婦負の野



〒930-0143  
富山県富山市西金屋6682番地  
社会福祉法人めひの野園  
TEL.076-436-0270  
発行責任者 中田 匡  
(表題書)  
高岡市中川上町3の31  
(故)社浦 获水先生



## 診療所よりごあいさつ

富山大学からの派遣で、平成25年4月から、隔週木曜日の午後、うさか寮診療所にて診察をさせていただいています。小野看護師とともに、てんかん発作、要治療の行動障害に対する薬物療法や、各種の書類作成業務に携わっています。

行動障害は、くすりで簡単に解決する場合はむしろ少なく、多くの量や種類のくすりが必要を得ず使用されていることもあります。くすりは日進月歩の勢いで開発されており、最近では感情のコントロールに有効なものが増えてきています。また、副作用に悩まされることが多かった方に対しても、作用の穏やかな、副作用の出にくいものに変更することで、生活の質を改善させることが可能な場合も出てきました。向精神薬の副作用としては、便秘、錐体外路症状（ふるえ、小刻み歩行、体の硬さ等）、日中の眠気、立ちくらみなどがあります。皆さんが少しでも安楽に過ごせるよう、日々内容を見直し、調整に努めています。

抗てんかん薬は、使用の難しい薬剤に分類され、使用法を誤ると思わぬ副作用を招くことがあります。このため、年に2回の血中濃度採血を行い、細心の注意を払って使用しています。

精神遅滞、自閉症スペクトラム障害の患者さんは、不都合を自分の言葉で伝えることが困難であり、診療はご家族、看護師・支援職員などスタッフの皆さんの注意深い観察、適切な報告によって成り立っています。報告を聞いてみると、皆さんが利用者の方々に細やかに愛情深い目で見守っておられることがわかり、感銘を受けることもしばしばです。環境調整への積極的な工夫、ご尽力には頭の下がる思いです。

お気づきの点があれば、小さなことでも構いませんので何でも相談していただければと思います。  
今後とも宜しくお願いいたします。

(富山大学附属病院 神経精神科 医師 樋口悠子)



# 地域とともに 歩むめひの

障がいのある方が、地域で安心して暮らしていけるように、そして、自分たちの出来る事を地域に役立て、地域とともに手を取り合って歩いていけるように、めひの野園では様々な取り組みが行われています。

## 地域とともに ①

### 「めひの自閉症地域生活支援センター新築」 「障害のある方が地域で安心して暮らせるために」

めひの野園では平成26年10月から相談支援事業が開始され、今年8月に、「めひの自閉症地域生活支援センター」が新築されました。

ここでは、障がいのある方や保護者の思いを聞き入れ、その人格を尊重し、心身の状況や置かれている環境に応じて、地域で自立した日常生活、社会生活を営むことが出来るよう、相談支援が行われています。

#### 利用者のニーズ

- ・難しいかもしれないけど、就職したい。
- ・苦手な人がいて困っている。
- ・ひとりで外出できないので困っている。
- ・ひとり暮らしがしたい。

#### 保護者のニーズ

- ・本人の物をかたづけたくても、触るとパニックになってかたづけられない。
- ・本人の予定に合わせていると仕事が探せない。
- ・本人のしたいこと、好きなことが親でもわからない。

利用者、ご家族のさまざまな思いをお聞きし、望まれる生活の実現を目指して、一緒に考え、歩んでいきます。



作業センターふじなみ前に建てられた「めひの自閉症地域生活支援センター」

### 「声にならない声」に 耳を傾けたい!

「障がいのある方の中には、自分の思いをうまく表現することが出来ない方もいます。そのような『声にならない声』に耳を傾け、地域生活を支えていきたい。」と話す赤壁由貴支援員。様々なニーズを聞き入れ、それを実現させようと、相談支援に取り組んでいます。

今後、障がいのある方や、その家族の思いに応え、地域で支えていく仕組みを作り上げていくことが期待されています。

## 地域とともに ②

### 金草寮、地域クリーン 作戦に参加

8月23日(日)、「ふるさと富山美化大作戦」と題して、富山市全域で道路・歩道等の美化清掃活動が行われました。めひの野園のグループホーム「金草寮」の利用者さんは、「いつもお世話になっている地域に貢献したい」と、花の木地区の美化活動に参加しました。

午前7時30分から作業が始まり、地域の方々と一緒に、道路に落ちていた空き缶や吸い殻等のゴミを拾ってまいりました。

花の木地区では、このような美化活動が年に3回ほど行われていて、いつも積極的に参加しています。このような地域交流のおかげか、普段から声を掛けてくださったり、中には野菜を分けてくださる方もいたりして、地域との温かいつながりを感じています。

これからもこのような活動に参加し、地域貢献につなげていきたいと思えます。



地域の方と一緒に、町内のゴミ拾い活動を行いました。

地域とともに ③

### 私たちの出来る事を地域のために①

#### 地域の特産「アルギットニラ」選別作業

ウォーム・ワークやぶなみでは、最近新しい作業が始まりました。それは、ニラの選別作業です。ニラと言っても、ただのニラではありません。

富山県では、新しい特産品として、「アルギットニラ」の生産に力が入られています。めひの野園近隣の池多地域でも生産が盛んに行われていて、規模が拡大し、生産量が増えてきたことから、めひの野園に選別作業の依頼が来ました。



「アルギットニラ」の選別作業。根気よく取り組んでいます。

#### 「自分たちの作業を地域に役立てたい！」

「自分たちの作業が、少しでも地域の方々の役に立てば」という思いで依頼を引き受け、現在、週に3日の選別作業に取り組んでいます。

作業は、農家から運ばれてきたアルギットニラを選別し、105gずつ束ねていくという内容です。午後には市場に出荷するため、午前中のうちに作業を仕上げなければいけません。ウォーム・ワークやぶなみ利用者と職員のチームワークの見せ所で、一丸となって作業を行っています。

この作業を始めてから、「地域に貢献すること」「はもろん、「新しいことに挑戦すること」」「利用者出来ることを仕事に「つなげる」こと」等、多くのメリットが感じられるようになりました。今後も地域に貢献できるように積極的に取り組んでいきたいと思えます。

#### アルギットニラとは？

ノルウエー産の天然海藻「アルギット」をはじめ、有機質肥料、天然粘土を使って土づくりをし、露地栽培で作られるニラが「アルギットニラ」です。

富山の新しい特産として注目されており、その特長は、葉先までハリがあり、色鮮やか。食感がよく、ニラならではの美味しさを味わえます。

地域とともに ④

### 私たちの出来る事を地域のために②

#### 地域の子どもたちとの和太鼓教室

めひの野園が誇る和太鼓サークル「喜楽太鼓」。これまで、めひの野園で行われたイベントはもろん、園以外の多くのイベントでも演奏してきました。

7月に、富山市八ヶ山にある学童保育「どんぐり山学童クラブ」から、和太鼓指導の依頼がありました。

運動会で、学童児による和太鼓演奏を披露したいとのことで、それに向けて、8月の毎週火曜日午後4時から5時までの練習が始まりました。



4年生から6年生の小学生が、当園の体育館で練習しました。

#### 和太鼓の楽しさを伝えたい

和太鼓教室に参加したのは9名の小学生。「喜楽太鼓」の山橋支援員が講師を務めました。

「和太鼓を教えることで、地域の子どもたちとの交流が広まればいいと思う。和太鼓の技術だけではなく、楽しさも伝えていきたい。」と山橋支援員。「これまで培ってきたことを地域に活かしたい」という山橋支援員の意欲がみちあふれ、いきいきとした小学生の姿が体育館に広がりました。

#### 和太鼓サークル「喜楽太鼓」

音楽好きの職員、利用者が集まり、余暇活動の充実を図って、現在7名で活動しています。週1回の練習を行い、老人施設の納涼祭、パーティとやま、華街道くれは祭り等、様々なイベントで演奏しています。



2014年度りんどう祭での演奏

11月3日(火)は、めひの野園「りんどう祭」で演奏します。日頃の練習の成果をぜひお聞きください。



ウォーム・ワークやぶなみの皆さん、山の家でスイカを食べ、夏を満喫!

# 夏合宿!

平湯山の家で

作業センターふじなみ、ウォーム・ワークやぶなみ利用者の皆さん、ちょっぴりリニューアルした「平湯山の家」で夏合宿です。豊かな自然の中で楽しい夏の思い出が出来ました!

奥飛騨温泉郷で、  
大自然と温泉を満喫!

岐阜県高山市奥飛騨温泉郷の平湯温泉は、奥飛騨の中でも最も古く、歴史のある温泉です。また、海拔1,250mに位置することから、避暑地としても知られています。

ここには、めひの野園の通称「平湯山の家」があり、利用者の合宿に利用されています。今年も作業センターふじなみ、ウォーム・ワークやぶなみの皆さんが二泊二日の合宿を行いました。

大自然の中で露天風呂に入り、仲間と共に過ごす生活体験が、利用者にとって、楽しく有意義な時間になっています。



露天風呂周りの目隠し板が新しくなりました。



広く使いやすくなった玄関周辺。

## 「平湯山の家」が快適にリニューアル

今年、平湯山の家がリニューアルされました。まず、山の家自慢の露天風呂に設置されている、目隠しの板塀が新しくなりました。古くなり、汚れが目立っていた板塀がきれいになったことで、これまでよりも気持ちよく温泉を楽しむことができますようにしました。

また、これまでは手狭で、大人数で訪れると靴が並べきれなくなっていた玄関周りが新しくなり、広く使いやすくなりました。今年合宿に参加した利用者からは、「玄関がきれいで広くなったので、とても使いやすくて快適でした。また平湯山の家に行きたいです。」という声が聞かれました。



めひの野園職員の  
雑感コーナー



梨の木苑 生活支援員  
黒川 実香

私が管楽器（ホルン）を吹いて二十二年が経つ。良い音色を求め、十数年間個人レッスンを受けて続けている。レッスンは苦悩の連続で、一つを治すと違う箇所が悪くなり、出来たことも翌日には出来なくなってしまう、よく注意された。技術が不安定で、良い音を鳴らせる日と鳴らせない日の差が激しい。何百人と指導を行ってきた先生が、「こんな理解不能な奴に出会うことが無い」と、頭を抱えられていた。

2年前から、身体に異変が出始め、息を吐くとむせ返り、視界がぼやけ音符が重なって読めなくなり、とうとう音が全く出なくなった。さらに日常生活にも異変が表れ、体力が急激になくなっていった。原因がわからない恐怖や不安を、誰にも理解してもらえず、悩み苦しんだ。

2013年秋、私は重症筋無力症と診断された。全身の筋力低下を特徴とした自己免疫疾患だ。技術が不安定だったのは病気が原因だった。難病を発症した悲しさより、原因が分かっていた嬉しさで、とても安堵した。治療を始めてからは症状に合った吹き方を習い、技術が安定した。辛い時期が長かったが、今は前以上に楽しめている。

難病に悩んだこともあったが、利用者が様々な障がいを抱えても明るく生きる姿を見て、何度も励まされた。障がいは不便だけど、不幸ではない。障がいがあっても幸せになれる。多くの人に当事者の想いを伝え、支援に繋がりたい。それは「当事者であり支援者でもある」私にしかできない仕事だろう。私は難病を強みに変えて人生を充実させたい。



## 食堂 nogi

〒939-2708 富山市婦中町島本郷10-10 1F

納品物 しいたけ、卵、野菜



「美味しく 楽しく 食べて 笑う」をコンセプトにした、野菜がたっぷり食べられるお店です。まじめな生産者さんと、心ある消費者さんをつなげる場所になれるように只今努力中!

めひの野園のしいたけは肉厚でとても美味しいです!リピートして買って行かれるお客様も多いです。 店長 ヨシサキ メグミさん



めひの野園を応援していただいているお店を紹介いたします!

## スーパーフレック

〒939-2606 富山市婦中町長沢4585-1

納品物 野菜、鉢花など



食品スーパーマーケットのフレックです。地域密着型ミニスーパーとして、地域のお客様に喜んでいただけるように、従業員全員が日々努力しています。

ただ単に商品を販売するだけでなく、人と人のつながりを大切にし、食からの栄養と私たちの笑顔からの栄養で、ビタミンいっぱいの幸せをお届けします。

### めひのコーナーを設けています

野菜、鉢花を見ていると、日々手間ひまをかけて育てておられるのがよくわかります。

新鮮で立派な野菜はお客様に評判で「値段も安く、無農薬にこだわって育てているので、安心して購入できる」と喜んでいただいています。



店長 西境 隆志さん

婦中編



# しいたけくん

第38回 しいたけくんの野球部物語...!!の巻



これは、しいたけくんがまだ新採職員だった頃の話。



当時の野球部主将に呼びとめられ...



そのとき、しいたけくんは正直こう思った。



いっけしたとてな、本当に野球してる!!

(注)...今日は練習に変りまして。

(描・おかちん)

## めひのスポーツ

# 全国制覇へ

## めひの野球部

夏はまだ終わらない!

特訓中!



勤務後の時間を使い、練習に励むめひの野園ナイン。全国大会決勝は10月1日。「それまで俺たちの熱い夏は終わらない!」

### 全国福祉軟式野球大会北陸予選試合結果

1回戦 めひの野園 対 @home若葉(石川)

	1	2	3	4	5	6	計
@home若葉	0	0	0	0	0	0	0
めひの野園	2	0	1	0	1	×	4

決勝戦 めひの野園 対 セーナー苑(富山)

	1	2	3	4	5	6	7	計
めひの野園	1	2	0	0	3	1	1	8
セーナー苑	0	0	0	0	0	2	0	2

ウォーム・アップやぶなみ裏にあるグラウンドで練習中のめひの野園野球部を直撃した。全国大会に向けて猛特訓中だそうである。大会が近いため、練習内容は非公開であったが、奥田亮介主将(やねのうえのガチョウ職業指導員)は、「全国大会に出場できるのは、協力していただいた皆さんのおかげ。感謝の気持ちを忘れず、勝利を目指して野球部員一同全力を尽くして頑張ります!」との力強いコメントに、勝利への意欲が表れていた。

### コラム + a

6月27日に行われた全国社会福祉軟式野球大会北陸ブロック予選で、めひの野園野球部は勝利し、全国への切符を手にした。

たかが、社会福祉軟式野球と思う人がいるかもしれないが、参加選手の中には、甲子園球場や神宮球場で活躍した名選手もいて、結構レベルが高い。(実際に140キロ以上の速球を投げ込む投手がゴロゴロいる。)北陸ブロック予選決勝戦では、相手チームの選手がうちのチームのエースからレフトスタンドに本塁打を叩き込んだ。(軟式野球で両翼98メートルのスタンドに本塁打を打つのは、並のバッターではできない。)

ここまでの道のりは順風満帆だったわけではなく、ここ数年は全国大会出場どころか、北陸ブロック予選の一回戦で敗退という現実だった。理由は相手チームのほうが強かったから。それ以外の理由は何も無い。その過去の現実を克服して這い上がったからこそ、今回勝利できたのだと思う。

今回の勝利はチーム全員の良い所が発揮できたからだと思ってる。活躍した選手はもちろん、試合に出ない選手も、そして、野球部が安心して試合ができるように福祉業務をしている職員も、すべての人の力があつたからこそ勝利。初めて全国大会の出場が決まった時も嬉しかったが、今回もそれに引けを取らないくらい嬉しかった。

この時代に、こんなにも野球が夢と感動を与えてくれる理由は、そこで戦うすべての人たちが魂を込めた熱い戦いをしてるからだろうと思う。

(作業センターぶじなみ 室 賢一)

